

社民党神奈川写真ニュース

「ささき克己」茅ヶ崎市民大集会で決意!

三月十九日(日)、茅ヶ崎市中央公園において「戦争法廃止、茅ヶ崎大集会」(主催「茅ヶ崎市民連合」)が開かれました。

集会では社民党、民進党、共産党、自由党の代表者がそれぞれ挨拶、社民党を代表して「ささき克己」県連合副代表は「国会では森友学園疑惑が大きなテーマになっているが、一方で三

回廃案になった『共謀罪』制定が進められようとしている。安倍政権は、最初は条約批准のためと言いつつ、今はテロ対策と言いつつ方を変えている。具体的には通信傍受・盗聴など考えられるが、市民運動・労働組合運動など監視され、戦前の治安維持法を思い出す。国の安全保障に関する情報漏れを防ぐ特定秘密保護法、集団的自衛権行使、戦争法、そして憲法改悪につながる危険な状況である。今の自・公政権を決して許してはいけない。私は来たる解散・総選挙には社民党公認でこの十五区から立候補を予定している。皆さまと一緒に頑張る」と決意を込めました。

戦争法廃止・茅ヶ崎大集会



2017年3月19日(日)

#196 写真ユース

戦争法廃止 茅ヶ崎大集会

: 党神奈川 教育宣伝委員会発行



3月19日、茅ヶ崎市中央公園で開かれた大集会に集まった参加者

「共謀罪」は市民運動 労働組合運動への弾圧!



社民党神奈川県連合を代表してあいさつする「ささき克己」副代表

集会後は茅ヶ崎駅前へエメロード商店街へ国道1号道路上へ中央公園の往復を「戦争法廃止」「共謀罪はイラナイ」「自衛官を戦場に送るな」などシユプレヒコールをあげながら、市民に訴えました。参加者は百五十名強。



右から二番目がささき克己県連合副代表



三月二十一日(火)、安倍政権は「共謀罪法案」を閣議決定しました。東京五輪開催を控えてのテロ対策”であると強調。安倍首相は「テロ準備罪」というお得意の言い換えでごまかしています。菅義偉官房長官も「テロを含む組織犯罪を未然に防ぐことを国民の皆さんも望んでいる」などと述べています。「テロ準備罪」と言い方を変えています。それは建前に過ぎず、安倍政権が目論むその本質は、「治安維持法の復活」です。市民運動、労働組合運動の弾圧としか言いようがありません。社民党は三回廃案になったこの悪法を許さず、院内外の国民的運動で廃案まで闘います。 〓

平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会とは

：平和を考える茅ヶ崎市民の会実行委員会は、公募と市内の団体から推薦された市民で構成され、茅ヶ崎市より平和事業の委託を受け、「平和都市宣言」及び「茅ヶ崎市核兵器廃絶平和都市宣言」に基づいて、地域・家庭からの草の根平和運動を推進し、市民に平和の尊さを訴え、平和で豊かな社会の実現を目指す様々な平和啓発事業を実施しています。

